

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年8月13日
【四半期会計期間】	第16期第3四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	メドピア株式会社
【英訳名】	MedPeer, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石見 陽
【本店の所在の場所】	東京都中央区銀座六丁目18番2号
【電話番号】	03-4405-4905
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営企画部長 平林 利夫
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区銀座六丁目18番2号
【電話番号】	03-4405-4905
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営企画部長 平林 利夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第3四半期 連結累計期間	第16期 第3四半期 連結累計期間	第15期
会計期間	自 2018年10月1日 至 2019年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高 (千円)	2,247,255	3,659,352	3,045,538
経常利益 (千円)	367,237	757,093	554,922
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	253,489	485,525	394,850
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	264,176	540,180	428,124
純資産額 (千円)	2,773,527	5,318,201	3,414,326
総資産額 (千円)	3,333,911	6,452,267	4,009,972
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	13.73	23.70	21.04
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	13.02	22.16	19.83
自己資本比率 (%)	78.5	79.0	80.8

回次	第15期 第3四半期 連結会計期間	第16期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	1.51	6.92

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2【事業の内容】

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社(メドピア株式会社)、子会社4社及び関連会社1社により構成されており、ドクタープラットフォーム事業及びヘルスケアソリューション事業を主たる業務としております。

当第3四半期連結累計期間における、各セグメントに係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

<ドクタープラットフォーム事業>

2020年1月に医療コンテンツの企画制作等を営む株式会社コルボを連結子会社としております。また、2020年5月にメドピアキャリアエージェント株式会社を設立し、連結子会社としております。

<ヘルスケアソリューション事業>

主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

新型コロナウイルスの感染拡大による経済環境の悪化等が事業に与える影響について、今後も注視する必要があるものの、現時点では当社グループの経営成績及び財政状態に重大な影響を与えるものとは認識しておりません。

なお、2019年3月8日付で発行した新株予約権に基づく資金調達により、手元流動性は十分確保されております。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当社グループが属する医療・健康産業においては、団塊の世代が全員75歳以上に達し医療・介護費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題、さらに、団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達することで高齢者数がピークを迎え、医療・介護費の負担の増加が拡大する2040年問題を抱えております。かかる展望を踏まえ、日本政府は持続可能な経済財政の基盤固めに向けた構造改革を推進しており、健康寿命の延伸を喫緊の課題として『予防・健康管理』と『自立支援』に軸足を置きつつ、テクノロジーの活用により医療・介護サービスの生産性向上を実現する、新しい医療・介護システムを構築することとしております。

また、製薬企業は医療従事者に向けた営業活動の生産性向上を企図し、情報提供・収集活動の一環としてウェブサイトやアプリ、ソーシャルネットワークなど、デジタルツールを活用した取り組みをより一層強化しております。これにより、製薬企業にとってのeマーケティングは、かつての医薬情報担当者(MR)の「補完」としての位置づけから「主軸」としての活用を期待されるポジションへと変化しております。さらに、現在の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受け、これらのオンライン化の流れはさらに加速するものと見られます。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients.(医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開するドクタープラットフォーム事業と、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開するヘルスケアソリューション事業に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,659,352千円(前年同四半期比62.8%増)、営業利益733,735千円(同92.2%増)、経常利益757,093千円(同106.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益485,525千円(同91.5%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

ドクタープラットフォーム事業

ドクタープラットフォーム事業では、MedPeerのドクタープラットフォームを基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、医師のためのインターネットテレビ「MedPeer Channel」を開局するなど、国内医師の3人に1人の医師会員が利用するMedPeer上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性度を向上させる施策を展開してまいりました。また、薬剤評価掲示板などの広告配信を中心とした収益機会をコンテンツ制作や効果測定などの領域にも拡大させることを意図したサービス開発や提携を推進してまいりました。2020年1月には、医療系コンテンツの企画制作に実績のある株式会社コルボを連結子会社化し、マーケティング支援をワンストップで提供する体制をさらに強化しております。

これらの結果、売上高は2,681,840千円(同57.4%増)、セグメント利益は863,737千円(同44.7%増)となりました。

ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業では、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開しております。

当第3四半期連結累計期間において、子会社の株式会社Mediplatでは、産業保健支援サービス「first call」の収益基盤の強化に注力するとともに、ライフログプラットフォーム事業でサツドラホールディングス株式会社と新たに業務提携契約を締結するなど、さらなる事業拡大を推進してまいりました。また、子会社の株式会社フィッツプラスが展開する特定保健指導事業では、すべての指導をリモートで実施できるサービスの提供を開始し、新型コロナウイルス感染症の拡大により対面面談が困難な状況下においても、必要な特定保健指導の実施ができる体制を整えております。

これらの結果、売上高は977,876千円(同79.9%増)、セグメント利益211,259千円(同316.3%増)となりました。

また、財政状態の分析は以下のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,442,295千円増加し、6,452,267千円となりました。これは現金及び預金1,405,505千円の増加及び受取手形及び売掛金374,727千円の増加を主要因とするものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて538,420千円増加し、1,134,066千円となりました。これは未払金105,912千円の増加、未払法人税等88,201千円の増加及び長期借入金51,840千円の増加を主要因とするものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,903,874千円増加し、5,318,201千円となりました。これは新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加1,365,764千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加485,525千円を主要因とするものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	67,000,000
計	67,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	21,404,300	21,404,300	東京証券取引所 (マザーズ)	1単元の株式数は100株であります。
計	21,404,300	21,404,300	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2020年8月1日から本四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日 (注)	604,000	21,404,300	97,697	1,993,225	97,697	2,015,649

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,791,600	207,916	1単元の株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 8,300	-	-
発行済株式総数	20,800,300	-	-
総株主の議決権	-	207,916	-

(注)「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式78株が含まれています。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) メドピア株式会社	東京都中央区銀座 六丁目18番2号	400	-	400	0.00
計	-	400	-	400	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年10月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,129,112	4,534,617
受取手形及び売掛金	502,554	877,281
その他	30,530	99,347
流動資産合計	3,662,197	5,511,246
固定資産		
有形固定資産	61,862	114,912
無形固定資産		
のれん	14,166	235,417
その他	118,628	171,217
無形固定資産合計	132,794	406,634
投資その他の資産	153,117	419,473
固定資産合計	347,774	941,020
資産合計	4,009,972	6,452,267
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,363	51,985
1年内返済予定の長期借入金	53,896	70,870
賞与引当金	48,890	58,803
ポイント引当金	67,152	79,397
未払金	115,541	221,453
未払法人税等	77,633	165,835
その他	126,694	277,669
流動負債合計	497,171	926,013
固定負債		
長期借入金	98,474	150,314
資産除去債務	-	34,169
その他	-	23,569
固定負債合計	98,474	208,052
負債合計	595,645	1,134,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,734	1,993,225
資本剰余金	1,523,780	2,210,271
利益剰余金	411,964	897,569
自己株式	448	448
株主資本合計	3,242,029	5,100,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	2,582
その他の包括利益累計額合計	-	2,582
新株予約権	19,469	10,102
非支配株主持分	152,826	210,063
純資産合計	3,414,326	5,318,201
負債純資産合計	4,009,972	6,452,267

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,247,255	3,659,352
売上原価	711,725	1,254,118
売上総利益	1,535,530	2,405,234
販売費及び一般管理費	1,153,762	1,671,498
営業利益	381,767	733,735
営業外収益		
受取利息	9	126
持分法による投資利益	-	23,845
その他	543	1,189
営業外収益合計	553	25,161
営業外費用		
支払利息	995	1,382
持分法による投資損失	2,088	-
為替差損	26	0
貸倒引当金繰入額	18	-
新株予約権発行費	11,584	-
創立費	-	399
その他	369	22
営業外費用合計	15,083	1,803
経常利益	367,237	757,093
特別利益		
新株予約権戻入益	2,449	20
特別利益合計	2,449	20
税金等調整前四半期純利益	369,687	757,113
法人税、住民税及び事業税	96,980	189,546
法人税等調整額	8,530	24,805
法人税等合計	105,510	214,351
四半期純利益	264,176	542,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,686	57,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	253,489	485,525

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	264,176	542,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	2,582
その他の包括利益合計	-	2,582
四半期包括利益	264,176	540,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	253,489	482,943
非支配株主に係る四半期包括利益	10,686	57,236

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、持株会社である株式会社コルボホールディングス及びその完全子会社株式会社コルボを完全子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、株式会社コルボホールディングスは、2020年3月31日付で完全子会社である株式会社コルボを吸収合併存続会社とする吸収合併を行い、解散しております。

また、当第3四半期連結会計期間より、メドピアキャリアエージェント株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	32,350千円	62,451千円
のれんの償却額	25,499千円	40,324千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第3四半期連結累計期間において、UBS AG London Branchから新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ363,271千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,065,635千円、資本剰余金が1,282,681千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第3四半期連結累計期間において、UBS AG London Branch等から新株予約権の行使による払込みにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ682,882千円増加しました。主にこの影響により、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,993,225千円、資本剰余金が2,210,271千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,704,009	543,246	2,247,255	-	2,247,255
セグメント間の内部売上高又は振替高	145	279	424	424	-
計	1,704,154	543,525	2,247,679	424	2,247,255
セグメント利益	596,885	50,745	647,631	265,863	381,767

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去5,040千円、各報告セグメントに配分していない全社費用270,903千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,681,755	977,597	3,659,352	-	3,659,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	85	279	364	364	-
計	2,681,840	977,876	3,659,716	364	3,659,352
セグメント利益	863,737	211,259	1,074,996	341,260	733,735

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去6,795千円、各報告セグメントに配分していない全社費用348,055千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	13.73円	23.70円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	253,489	485,525
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	253,489	485,525
普通株式の期中平均株式数(株)	18,465,135	20,483,930
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	13.02円	22.16円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	1,005,874	1,425,252
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	第11回新株予約権 (潜在株式数611,500株)	第12回新株予約権 (潜在株式数196,000株)
	第12回新株予約権 (潜在株式数240,000株)	
	第14回新株予約権 (潜在株式数554,200株)	
	第15回新株予約権 (潜在株式数456,200株)	

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月13日

メドピア株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊藤 裕之
--------------------	-------	-------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	萬 政広
--------------------	-------	------

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているメドピア株式会社の2019年10月1日から2020年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、メドピア株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。